

平成 30 年度 (横浜国際) 不祥事ゼロプログラム実施状況

○項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守の意識	法令遵守の意識の向上	○コンプライアンスマニュアルに従って、公務員として遵守すべき倫理事原則に基づいた行動を常に心がけ、県民からの信用を得て、職務を遂行するように研修会を通して、周知した。
個人情報保護	個人情報保護の管理徹底	○部活動の連絡などのために最低限の人数に限定して、生徒・保護者の承諾をとる手続きをとり、その情報の保護・管理を徹底した。
生徒指導・ハラスメント	スクールセクハラの未然防止	○SNSの危険性を生徒に周知して、教職員にはSNSによる生徒との連絡の禁止について徹底させた。
体罰・不適切指導	体罰・不適切指導の未然防止	○生徒に対して人権に配慮した適切な指導を行うと同時に体罰・不適切指導の未然防止を徹底した。
定期試験、成績処理業務	正確な試験作成及び成績処理	○定期試験の作成及び成績処理については必ず複数で確認し、適切な作成・処理を行うことができた。
調査書等進路関係業務	調査書及び進路関係業務の確実な処理	○進路関係及び調査書発行業務について新たな点検マニュアル体制を構築して正確な対応をすることができた。
入学者選抜業務	入学者選抜業務の正確な処理及び事故防止の徹底	○新たなコースの開設に伴う入学者選抜業務のシミュレーションを十分に行い、正確な業務を行うことができた。
会計処理業務	公費私費会計の正確な処理	○総合教育センター職員による会計処理の研修会を開催し、正確な会計業務と点検業務の意義について理解を図ることができた。
交通事故及び酒気帯び運転の防止	交通事故の未然防止、酒気帯び運転の厳禁	○年末年始を中心に交通事故・交通違反・酒気帯び運転防止のための研修会を開催し、職員に周知徹底した。

○平成 30 年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成 31 年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

・平成 30 年度は、毎月の定期的な不祥事防止会議だけでなく、必要に応じて朝の打合せでもテーマを絞って注意喚起を行った。職員も公務員としての自覚した対応をすることができた。特に今年度の重要課題であった進路関係については、マニュアルの再作成とその徹底した取組を行うことができた。平成 31 年度は、職員全体に再度、点検業務の意義とポイントを明確にした取組を継続していく。特に新たなコースの開設に伴い、成績処理が複雑になるため、職員の情報共有を徹底して、正確に実施していく。